



地域の皆さまへ ～「放射線たより ＊Radiation News＊」をお届けします！～

## 「ハイブリッド手術室でより高度で安全な医療を！」

令和6年6月よりハイブリッド手術室（以下：Hybrid-OR）の稼働がスタートしました。

“ハイブリッド”とは「異なる2つのものを組み合わせたもの」という意味ですが、Hybrid-ORとは、X線による高画質な透視・撮影を行うことができる血管X線撮影装置と高清潔度環境下の手術室が組み合わさった高度複合手術室のことを言います。Hybrid-ORになることで、血管内にカテーテルという細い管を挿入し血管内治療を行う「内科的治療」と一般的な外科手術による「外科的治療」を一つの部屋で行うことができるため効率が良く、患者様により安全で優しい医療を提供することが可能です。

Hybrid-ORは様々な分野の医療に利用できますが、特に高度な技術と精密な画像を必要とする心臓血管領域に力を発揮します。当院では既に胸腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術

（TEVAR・EVAR）を行っておりますが、新たに大動脈弁置換術（TAVI）の対応に向けて、手術の受け入れ準備を進めています。また、尿路結石破

砕術や脳血管手術、骨病変手術など様々な手術にも対応できる機材を備えているため、当院のHybrid-ORは多彩な要望に対応できる1部屋となっています。



今回導入した血管X線撮影装置は Philips 社の最新鋭ハイエンド機種に当たる **Azurion 7 M 20** という装置です。高出力のX線管と高感度のFPD（フラットパネルディテクタ：X線検出器）を兼ね備えており、様々なアプリケーションの相互作用により低被ばくかつ高画質の画像を提供することが可能です。また、手術前に撮影したCT画像を事前に

血管 X 線撮影装置と連携させることで、カテーテル操作の術中ナビゲーション機能として活用することができます。この機能により、手術中に造影剤を投与した X 線撮影を省略することが可能となるため、X 線被ばくの低減と使用造影剤量の低減が可能となります（患者様への身体負担を軽

減できるため、より身体に優しい手術が可能となります。）

今後も新装置の機能を最大限に活かしながら、使用頻度や適応領域を増やすことで、より一層、地域医療に貢献できると考えています。

(中平)

## 乳がんと放射線診療 – 第 4 回 乳がん検診について –

今回は乳がん検診の重要性についてお話しします。

40 歳になったら、2 年に 1 度、乳がん検診を受けましょう！

乳腺は皮膚の近くに位置し、その中にできる乳がんはマンモグラフィや超音波といった低侵襲の画像診断で見つけやすい病気です。そして早期に発見されれば治療ができる可能性は高く、治療の選択肢も広がります。発見のきっかけがなく治療が遅れた場合は、10 年生存率が大幅に低くなることもわかっています。しかし、日本国内の乳がん検診受診率は低迷が続いており、**2022 年の受診率は 47% 程度で、乳がん年齢調整死亡率は増加傾向**が続いています。一方、**欧米諸国の受診率は 70～80% を維持しており、死亡率は減少傾向**にあります。

乳がん罹患率は 30 代後半から急速に増加し、30～64 歳の世代では女性のがんによる死亡数で 1 位です。働き盛り、子育て世代の比較的若い世代もかかりうる病気なのです。仕事や子育てで忙しい時期でも、ご自身だけでなくご家族のために検診の大切さを理解し受診することをお勧めし

ます。

当院では**市民乳がん検診（マンモグラフィ）**を行っています。日曜日午前の集団検診（年 7 回開催）、または毎週金曜日午後のいずれかの日程でご予約を承っています。対象は泉佐野市、田尻町、熊取町にお住まいの 40 歳以上の女性です。

40 歳未満の方や前年度受診歴のある方など、市民検診対象外の方は、自費でのご負担にはなりますが、**乳がん検診セット（マンモグラフィ + 乳腺エコー検査）**を受けていただけます。予約制で平日の午後に行っています。

ご予約やお問い合わせは健康管理センターにてお電話で承ります。（猪股）

お問い合わせ先

●りんくう総合医療センター 健康管理センター

●電話：0724-69-3111（内線 1296）

平日 月曜～金曜 9:00～16:30

### 放射線部たより（Radiation News）

放射線科・放射線治療科・診療支援局放射線部門

発行責任者：中田耕平（放射線センター長）

編集責任者：中前光弘（放射線センター副センター長）

編集委員：田原大世、安永桂介、池本達彦、梅木拓哉、今西麻梨子、高橋美帆、奥田響生、山本佑樹

Vol.13 発行日：2024 年 08 月 01 日

### 編集後記

夏本番を迎え、各地で様々なイベントが開催されます。花火大会、音楽フェス、海水浴など夏ならではの楽しみが盛りだくさんです。しかし、この暑い夏を乗り切るには、熱中症対策も忘れてはなりません。こまめに、水分補給と塩分補給の「ハイブリッド補給」を心がけましょう。皆様、健康に気を付けて、楽しい夏をお過ごしください。（田原）